

\*\*\*\*\*

多面的機能支払 メールマガジン  
「農村ふるさと保全通信」 第 139 号(2024.7.19)  
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

\*\*\*\*\*

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 139 号をお届けします。

---第 139 号の目次-----

1 活動組織の活動紹介

☆<sup>まつくら</sup>松倉地域保全会（<sup>にししろかわくんやぶきまち</sup>福島県西白河郡矢吹町）☆

資源向上支払交付金（長寿命化）を活用した水路整備を直営施工で実施しています！この活動を通じて、地域の団結力と協調性が高まりました！

☆<sup>いえそん</sup>伊江村農地・水・環境保全管理協定運営委員会（<sup>くにがみぐんいえそん</sup>沖縄県国頭郡伊江村）☆

大雨が予想される際に、水路等の見回りや清掃をしたり、ため池の水位を調整したりすることで農地を浸水被害から守っています！

2 活動組織へのインタビュー

☆<sup>うるの</sup>潤野みんなの会（<sup>こさがわちょう</sup>和歌山県古座川町）☆

大学生が共同活動に参加してくれることで、活動組織のメンバーの負担が減るだけでなく、地域の方が元気づけられています！代表の方にインタビューを行いました！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆<sup>そしろ</sup>惣代地区農空間保全協議会（<sup>かわちながのし</sup>大阪府河内長野市）☆

小学校の農業体験や中学校の「お仕事体験」、さらには都市住民の受入れイベントを通じて、様々な世代の方に農空間の多面的機能や共同活動について理解を促しています！

【編集後記】

-----

## ■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～<sup>まつくら</sup>松倉地域保全会(福島県西白河郡矢吹町)<sup>にしらかわぐんやぶきまち</sup>～ ■

### ～ 地区概要 ～

福島県の中央南部に位置する矢吹町の<sup>やぶきまち</sup>松倉地域保全会では、田88ha、畑31ha、水路10.9km、農道19.0km、ため池5箇所を活動範囲としています。構成員84名（非農家21名）のうち、活動組織役員が11名、実行委員が17名と、構成員の3分の1が組織の運営に関わっています。50代の会長を筆頭に、役員との交代も定期的に行っており、盤石な組織体制で活動しています。

### ～ 主な取組 ～

- ◎ ため池の泥吐きを兼ねた子供育成会の子供達との水中生物の調査・観察や、自治会が中心となって行う農道周辺への植栽活動を通じて、様々な世代間の交流が図られ、地域コミュニティの強化に繋がっています。
- ◎ 地区の中に、火山灰土壌で水持ちの悪い区域があり、用水の確保に苦勞しています。そのため、資源向上支払交付金（長寿命化）を活用した水路の整備を、全構成員が参加して、直営施工で実施しています。この活動を通じて団結力と協調性が高まっているほか、用水を大切にする意識が生まれ、水源への恩恵の気持ちも生じています。
- ◎ 多面的機能支払交付金を活用した活動は、農村環境を自らが汗を流して守ることにより、地域への愛着と連帯意識、郷土愛が育まれるものであり、今後も継続して取り組んでいきたいです。



生きもの調査の様子



景観形成活動の様子



長寿命化の活動の様子



水路の泥上げの様子

## 編集担当 SDGs コメント

ため池の泥吐きを兼ねた子供育成会の子供達との水中生物の調査・観察を行うことは、目標 15「陸の豊かさを守ろう」に貢献しています。また、資源向上支払交付金を活用し、水路の整備を全構成員が参加して直営施工で実施することは、目標 9「産業と技術革新の基盤を作ろう」に貢献しています。これからも、子供育成会など様々な世代の参加や多面的機能支払交付金を活用した地域づくりが進むことを応援しています！



etc.

## ■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

～伊江村農地・水・環境保全管理協定運営委員会(沖縄県国頭郡伊江村)～

### ～ 地区概要 ～

伊江村は沖縄本島北部の本部半島から北西約9kmの海上に位置する一島一村の農漁村であり、全8集落で活動しています。活動範囲は、畑 618.4ha、農道 180.8 km、水路 19 kmです。

### ～ 主な取組 ～

- ◎ 農地維持活動では、地域住民も一緒に農道やため池、浸透池の草刈りに参加することで、住民同士のコミュニケーションの場となっています。また、人力では困難な浸透池等の泥上げは、業者をお願いしています。
- ◎ ほ場周辺にベチバーを植栽し、赤土の流出を防止しています。また、台風等による塩害で枯木となった樹木を撤去してハイビスカスを植栽することで景観の保全も図っています。
- ◎ 台風や急な大雨が多く、排水不良による農道や畑等の冠水被害が生じやすいため、事前に水路等の見回りをし、必要な箇所については清掃等を行っています。加えて、貯水量が小さいにも関わらず、降雨が多く流入するため池については、事前に貯水位を下げる等の工夫により、冠水被害の防止を図っています。
- ◎ 今後とも農道やため池、浸透池の草刈等、地域の実情に合わせた保全活動に努めていくとともに、本活動を通じて地域住民との交流を深めていきたいと考えています。



ため池清掃作業



浸透池の泥上げ



ベチバーの植栽作業



ため池の貯水位調整

## 編集担当 SDGs コメント

地域住民と一緒に農道、ため池、浸透池の草刈りすることは、目標 2（持続可能な農業生産を支える）や目標 4（地域内外の人に質が高い教育、生涯学習の機会を提供する）に貢献し、ほ場からの赤土等流出することによるサンゴ礁や海の生物への影響を軽減する植栽の取組は、目標 6（地域における水質を保全する）に貢献しています。これからも地域住民との交流を深め、綺麗な海を守る活動を応援します。





## ■2. 活動組織の代表者へのインタビュー ～<sup>うるの</sup>潤野みんなの会(和歌山<sup>こさかわ</sup>県古座川町)～■

### 組織の概要

活動範囲：田 13ha、畑 1 ha  
対象施設：水路 3.3km 農道 1.9km  
活動開始時期：平成 19 年

### ～ インタビュー ～

- 話し手 潤野みんなの会 代表 中氏
- 聞き手 和歌山県農林水産部農林水産振興政策局農林水産振興課
- 実施日時：令和 6 年 5 月 29 日  
場所：潤野集会所

Q：組織の立ち上げについて教えてください

A：平成 19 年の農地・水保全管理支払交付金のおかげから水管理の組織が活動しており、平成 26 年の多面的機能支払の創設に伴い水管理の組織が派生して潤野みんなの会が立ち上がりました。

Q：どのような活動をしているか教えてください。

A：農道の草刈り、用水路の掃除や修繕、排水路の泥上げ、鳥獣害対策のための電柵やフェンスの維持管理などの共同活動を行っています。また、潤野地区一体となり、害虫防除のために河川敷や田畑の畔の枯れ草を広範囲に渡って焼く芝焼を毎年 1 月末に行っており、春を迎える準備をしています。この行事には地区外の方も見学に来ており、100 年以上続く伝統行事となっています。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：潤野地区では、平成 19 年に岡山大学の九鬼教授（当時京都大学）から、この地区を鳥獣害対策の研究場所として調査を実施したいとの連絡があり、鳥獣被害などの実態調査などを先生と住民で協力して行う作業が始まりました。その際に、京



代表の中氏



用水路の掃除



100 年以上続く芝焼



ハナアミの作品

都大学の学生を迎えての共同活動が始まり、現在では京都大学の他、岡山大学と三重大学の学生が電柵やフェンス下の草刈りなどを手伝いに来てくれています。学生には、地域の女性で構成された「花の会」の活動として、野山に咲くレンゲやアジサイなどを使ってレイやコサージュを作る花編みを体験してもらったり、地域のお祭りに参加してもらったりしています。

Q：活動を行う中で苦労していることや良かったことはありますか？

A：高齢化により、活動に参加できる人数が減少しており、今後も共同活動を維持できるかが不安です。また、大学生との共同活動の受け入れ準備をする中で、食事の準備などが体力的に厳しくなっており、年々不安に感じています。

しかし、学生が地域活動に参加してくれることで、活動組織のメンバーだけでは重労働となる作業が軽減されるので助かっています。また、若い方が来てくれることで地域の方が元気づけられ、活動を維持できています。



大学生との共同活動

Q：代表として心がけていることを教えてください。

A：今年代表になったばかりなので、1年間のスケジュールを勉強し、潤野地区以外の情報を取り入れていきたいと考えています。

今後、地域の高齢化は進んでいきますが、生まれ育った地元が好きなので、地域が存続していけるように頑張っていきたいと思っています。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：現在、潤野地区では圃場整備事業が行われています。これを契機として優良な農地となり、新たな担い手が参入してくれることを期待しています。また、地域の社会福祉法人であるエコ工房四季では、農福連携の取り組みの一環としてニンニク栽培も行っています。今後、潤野地区が地域の農業の核となると考えており、観光農業の展開なども図っていければと考えています。

編集担当 SDGs コメント 

鳥獣害対策の研究場所として調査が始まったことをきっかけに、京都大学、岡山大学、三重大学の学生が、電柵やフェンス下の草刈りなどを活動組織と共同で取り組んでいることから、目標 4（地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。）に貢献しています。

また、多面活動にとどまらず、地域のお祭りへの参加を通して、目標 16（多様な主体の参画による地域づくりを促進する。）にも貢献しています。

今後も大学生などの若い力を取り入れた、より良い地域づくりを応援しています。





### ■3. 活動組織の活動の啓発・普及紹介

～<sup>そしろ</sup>惣代地区農空間保全協議会(大阪府河内<sup>かわちながのし</sup>長野市)～■

#### 多様な団体と連携した情報発信の概要

大阪府の東南部に位置する河内長野市惣代地区で、農道や水路等の施設補修、企業・都市住民・大学等と連携した農業体験や農産物の6次産業化に取り組んでいます。また、NPO法人里山ひだまりファームと連携して、里山生活に関心のある府民に里山生活を伝承したり、地域経済の活性化を図ったりすることで、地域社会に暮らす人々の利益の増進を図っています。

～工夫しているポイント～

#### ポイント1 近隣小学校や中学校と連携！

(説明) 近隣の小学校の田植え等の農業体験の受け入れや中学校への「お仕事講座」での説明等を通して、農空間の多面的機能について周知しています。



小学生の田植え体験



中学校での「お仕事講座」



大学生の地域体験実習

#### ポイント2 都市住民との交流イベントの実施！

(説明) 企業等と連携し、大阪市内をはじめ都市住民の受入れイベントを実施し、惣代地区の多面的機能に触れていただく機会を提供しています。



都市住民受入れイベントの案内



麦踏みイベントの様子

### ポイント3 Facebook で取組の情報発信！

（説明） 日頃の取組や多様な団体との連携の様子を、写真を交えてわかりやすく、NPO法人里山ひだまりファームのFacebook で発信しています。



**NPO法人里山ひだまりファーム**  
「いいね！」139件・フォロワー160人

投稿 基本データ 写真 動画

#### 自己紹介

「里山保全」「地産地消」「農商工連携」を通じて、自然と人間の調和した暮らし、景観を次の世代に残したい。

ページ・コミュニティサービス

河内長野市 (Japan・大阪府)石仏927番地3

0721-69-8670

satoyama.hidamari@gmail.com

hidamarifarm.main.jp/content

閉店・準備中

まだ評価はありません(レビュー0件)

「いいね！」 コメントする

**NPO法人里山ひだまりファーム**  
6月14日 19:59

今日は、近くの石仏小学校5年生の田植え体験でした。  
真夏並みの暑さの中、皆んな頑張って手植えしてくれました👏  
子どもたちは、初め慣れない泥田にキヤーキヤー、大騒ぎ😄  
最後に、今はほとんど田植え機で植えることなど、お話しさせていただきました。  
皆さん、お疲れさまでした。  
秋... さらに表示

4件以上

## ■ 編集後記 ■

読者のみなさま、こんにちは！いかがお過ごしでしょうか。私は6月後半に1週間、地方自治体の現状を学ぶために、宮城県の栗原市役所にお世話になりました。現在、栗原市では人口減少が課題となっており、市内の小中学校では統廃合が進んでいるそうです。しかし、この現状を打開すべく、栗原市は首都圏でも積極的に移住説明会を開くなど、移住施策に力を入れておられ、2024年版 住みたい田舎ベストランキング総合部門において、全国1位に選ばれています！



栗原市の田園風景

栗原市役所での経験を通じて、人口減少が進む地方の現状に危機感を覚えるとともに、栗駒山と田園の美しい風景が後世にも繋がってほしいと思いました。

いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。次回の投稿もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai/nouson\\_furusato\\_hozen/index.html](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html)

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen\\_siharai-31.pdf](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf)



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei\\_SDGs.html](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html)

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

[tamen\\_ml@maff.go.jp](mailto:tamen_ml@maff.go.jp)

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1  
農林水産省農村振興局整備部農地資源課  
多面的機能支払推進室（担当：青木、土田）  
TEL：03-3502-8111（内線85683）  
-----